

編集後記

本号の編集にあたっては、はじめ第一一七号以来久しぶりに考古学特集を組んでみようと考えた。幸い関係分野の研究者各位の賛同を得て、ほぼ一巻をなすに十分の原稿をいただいたが、何分図版・写真が多く、かつ大きいものが多かったため、特集の編集は断念せざるを得なかった。掲載できなかったものについては、執筆者の承諾を得て他誌に譲ることとした。その分は、後藤重巳、橋本操六両氏の玉稿二編を得て、内容的に厚みのある巻をなすことが出来た。

この間改めて痛感したことがある。編者の拙考をふくめて、考古学関係の論考に出てくる専門用語の難解さである。考古学専門誌や報告書の類では、それほど感じないのだが、本誌のように歴史・民俗等広い視界を持つ誌面では、特に強く感じるのである。ある程度はやむを得ないこととしても、少なくとも歴史・民俗関係の研究者や同好者には十分に通用する表現を目指すべきであらう。

(後藤)

昭和六十二年十月二十五日 印刷
昭和六十二年十月三十日 発行

大分県地方史 第二二七号

編集者 後藤 宗俊

発行者 渡辺 澄夫

印刷者 中尾 寿孝

別府市中央町九一二五

印刷所 日の丸印刷株式会社

(電話 〇三三一)

発行所

〒八七〇一一 大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関八一五二九四番)